

名古屋市の文化政策と新たな文化芸術推進体制 ～「名古屋版」アーツカウンシルの特徴と今後の展望～

三矢 知徳(名古屋市観光文化交流局文化芸術推進課)

2021年10月に策定された『名古屋市文化芸術推進計画2025』の重点項目の一つ目には、新たな文化芸術推進体制の構築(名古屋版アーツカウンシル)が掲げられ、今年9月頃、その設立が予定されています。名古屋市の様々な課題や他都市の先行事例の調査に基づき制度設計が行われてきたその組織は、日本における地域版アーツカウンシルでは“初”となる「文化財団等に設置せず、新たな機構として立ち上がる」ものです。

本勉強会では、日本で初めてとなるその仕組みを名古屋市の文化政策とともに紐解いていきます。

2022年 **5月29日(日)** 16:00～18:00頃

Zoomでも
参加できます!

ウインクあいち 会議室 1210

名古屋市中村区名駅4-4-28(名古屋駅から徒歩5分)

参加費 無料
定員 先着100名
お申込み 右記QRよりフォームにアクセスし、①お名前、②ご所属、③電話(携帯)番号、④参加方法(来場・Zoom)をご記入の上、5月22日(日)までにお申し込みください。
参加方法に関わらず、5月28日(土)までに、ご記入いただいたメールアドレスにZoomのURLを送信します。

お問合せ 日本アートマネジメント学会中部部会
〒481-8503 北名古屋市熊之庄古井281
名古屋芸術大学 アートマネジメント研究室内
☎ 0568-24-0315(内線685) 梶田
✉ jaam_chubu@yahoo.co.jp



<https://forms.office.com/r/1PSfCAVab9>

三矢知徳(みつやとものり)

民間企業で約10年勤務した後、2014年に職務経験者採用枠にて名古屋市に入庁。熱田区役所での窓口業務等を経て、2018年4月より現職場に配属。初年度よりアーツカウンシルの検討を担当するとともに、新型コロナウイルスに関する支援策として「ナゴヤ・アーティスト・エイド」の企画・立案や、「アッセンブリッジ・ナゴヤ」を始めとするアートプロジェクトなどに従事。